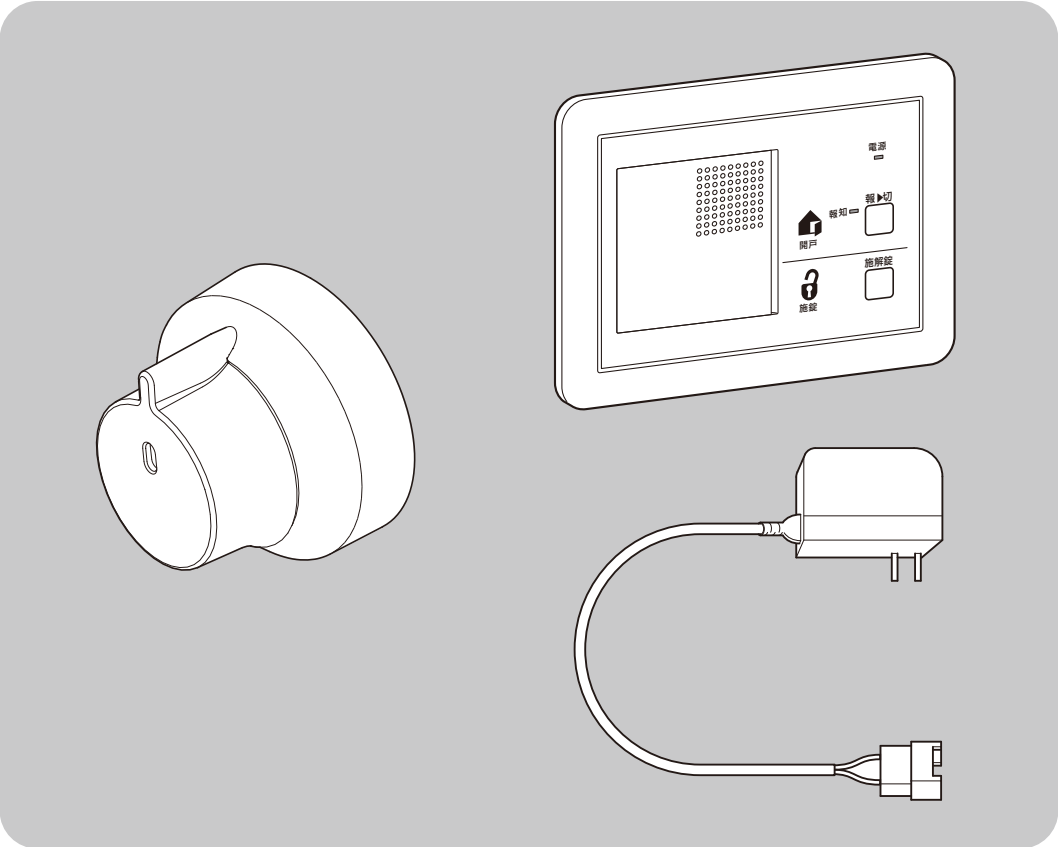
工事店さま用

LIXIL

FamiLock AC100V式

取付け説明書



取付け作業にあたって

●この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けしていただくにあたり、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、作業してください。

電気錠取扱いポイントブック

電気錠を正しく設置・施工いただくために、各工程ごとの注意点をまとめたポイント BOOK をご確認いただけます。
（設計・組立・施工・電気工事店様向け）
https://s.lixil.com/door-001

電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm

目次

	ページ
■取付けされる方へのお願い	
機器の設置で注意して頂きたいこと	1
■システム構成と作業手順	
取付け部品一覧	2
電気錠取付け手順	
梱包内容	3
■ドア枠への部品取付け	
①マグネットの取付け	
②通電金具（枠側）の取付けと躯体内配線コードの接続	4
■ドア本体への部品取付け	
①電動サムターンの取付け	
②室外側化粧プレートの取付け	5
■通電金具の接続	
■建付け調整	
①枠とドア本体間のチリ寸法の調整	6
②ラッチの調整	
③ストライクの調整	
■ AC アダプターの取付け	7
■機器の取付け、配線工事	
コントローラーユニットの取付け	8
配線工事方法	9･10
パナソニック製 外でもドアホン使用時の接続について	11
システム配線図（オプション品）	12
■動作確認	
AC アダプター式の動作確認	
コントローラーユニット式の動作確認	13
カードキーを使った動作確認	14
ドアのブザー音と表示について	15
コントローラーユニットのブザー音と表示について	16
■商品仕様	17

取付けされる方へのお願い

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

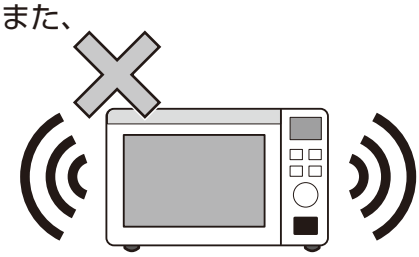
⚠警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠警告

●電気工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。
法令、規定及び取付け説明書にしたがわず誤った工事を行うと事故や故障につながります。
● AC100V 用電源線は指定の箇所に指定の方法通りに差込んでください。
差込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や破損につながります。
●コントローラーユニットなど AC100V を直接接続する機器の取付けは、ブレーカー（AC100V）を切った状態で行ってください。 感電の原因になります。

■機器の設置で注意して頂きたいこと

●次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。 故障や正しく作動しない原因になります。
・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかるところ。
・他の電波式機器から 2m 以内のところ。
・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から 2m 以内のところ。
・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれているところ。
・本製品の使用環境温度範囲は−10℃～ 50℃、使用周囲湿度範囲は 20%～ 90% RH です。温度が上昇するところ（直射日光・直接暖房が当たるところ・ボイラーの近くなど）や−10℃よりも温度が低くなる場合があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。

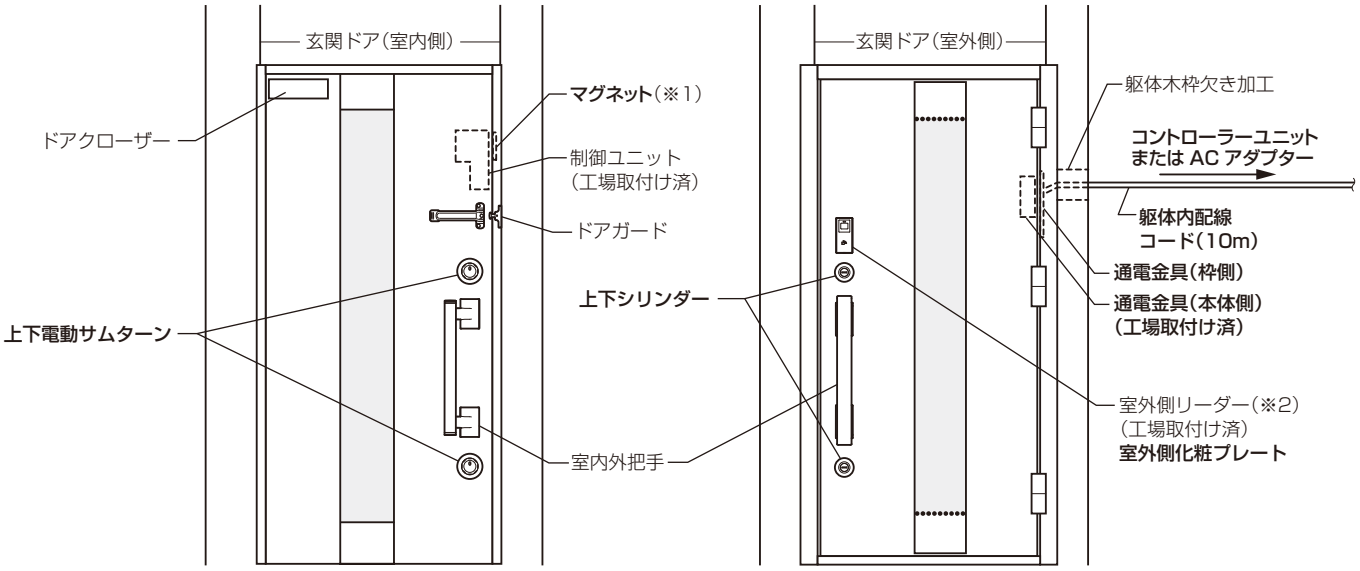


●屋内に取付ける機器（コントローラーユニットなど）は、次のような設置場所は避けてください。故障や感電等の原因になります。
・水や雨のかかる場所や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所
・極端に寒い場所・暑い場所（冷暖房の近くや直射日光の当たる場所）
・ガラス窓から近い場所（ガラスを破られ、施解錠ボタンから解錠されるおそれがあります。）

●玄関ドアとコントローラーユニット間が付属の躯体内配線コード（10m）で届かない場合は専用の躯体内配線コード（15m、20m）に取り換えてください。配線を継ぎ足す延長はできません。

システム構成と作業手順

■取付け部品一覧



※1 玄関ドアDAでは、マグネットは工場取付け済となります。
※2 S型ハンドルの場合、本説明書に記載されている絵と異なる箇所がありますが、手順・要領は同じです。
（室外側リーダーがハンドルに内蔵されています）

■電気錠取付け手順

●電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。
作業区分がサッシ工事と電気工事に分かれますので作業に抜けやモレが無きように進めてください。

サッシ工事区分

ドア枠の組立て、部品の取付け

- ■マグネットの取付け → （P.4）
- ■通電金具（枠側）の取付けと躯体内配線コードの接続 → （P.4）

ドア本体へ部品の取付け

- ①電動サムターンの取付け → （P.5）
- ②室外側化粧プレートの取付け（※ 1）→ （P.5）

躯体へのドアの取付け、建付け調整

- ■躯体木枠への配線用切り欠き加工（※ 2） → 『枠の取付説明書』
- ■ドア本体を枠に吊り込み
- ■通電金具の接続 → （P.6）
- ■建付け調整 → （P.6･7）

電気工事区分

機器の取付け、配線工事

- ■ AC アダプターの取付け → （P.7）
- ■コントローラーユニットの取付け → （P.8）
- ■配線工事方法 → （P.9～12）

動作確認

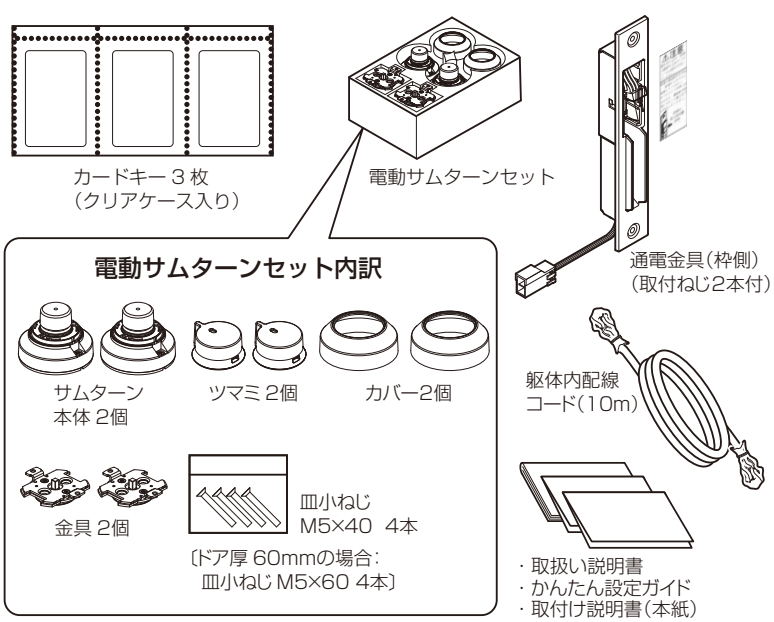
- ■ AC アダプター式の動作確認 → （P.13）
- ■コントローラーユニット式の動作確認 → （P.13）

- ■カードキーを使った動作確認 → （P.14）

※1）S型ハンドルの場合、室外側化粧プレートを取付ける作業は不要です。
※2）本紙には「躯体木枠への配線用切り欠き加工」についての記載がありません。
ドア枠に同梱されている「玄関ドア〔枠〕取付け説明書」を参考に作業を行ってください。（大工工事も含まれます）

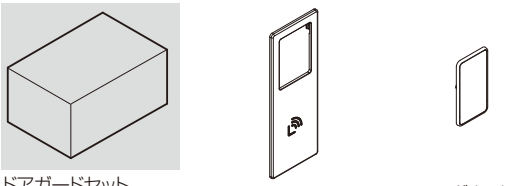
■梱包内容

●部品箱（エントリーセット）

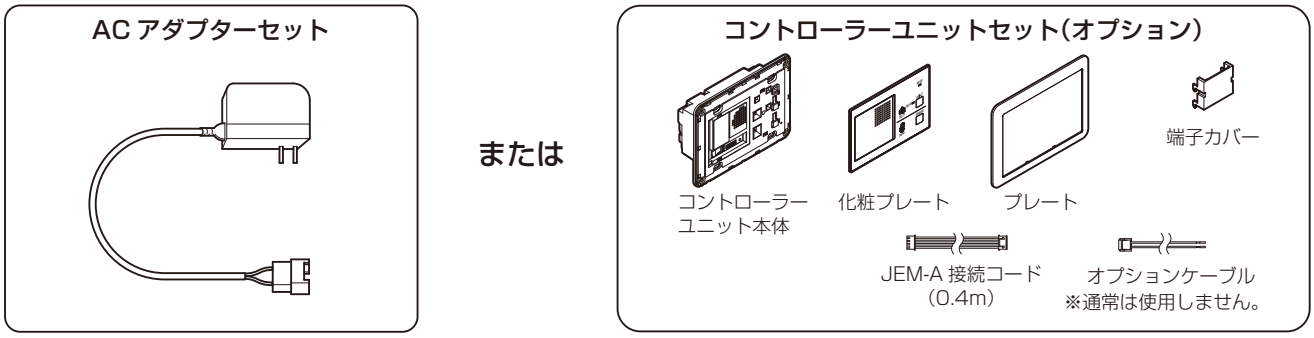


■玄関ドアDA

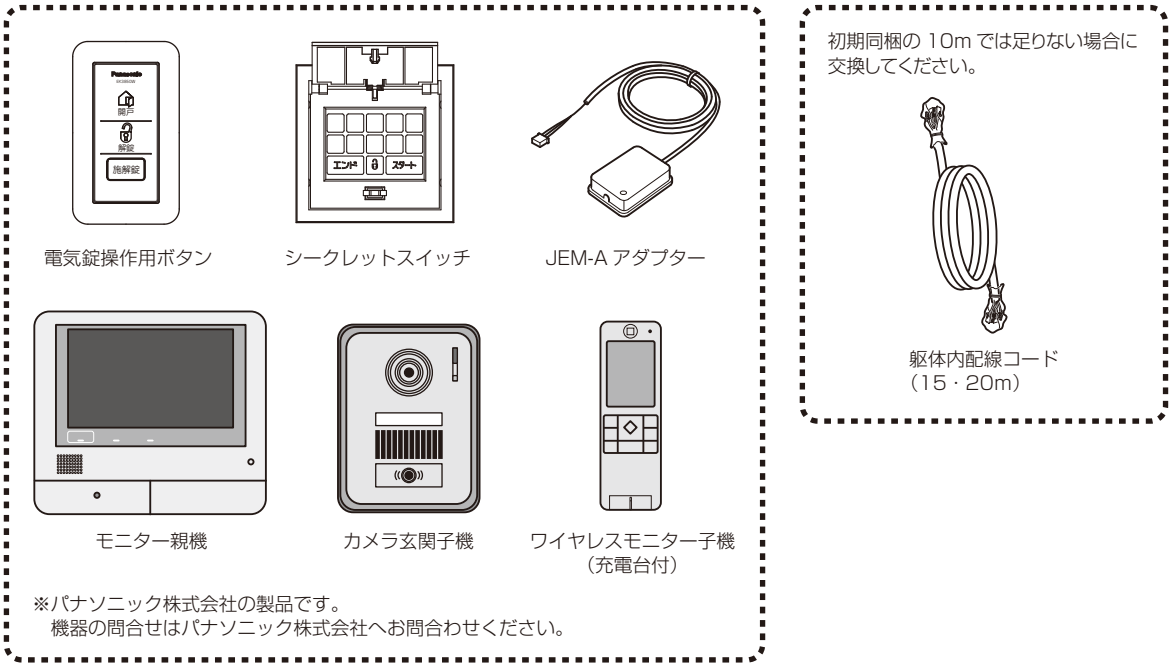
■玄関ドアDA以外
（別途手配）



●入力電源部品



●オプション品（コントローラーユニットを使用し拡張する場合）

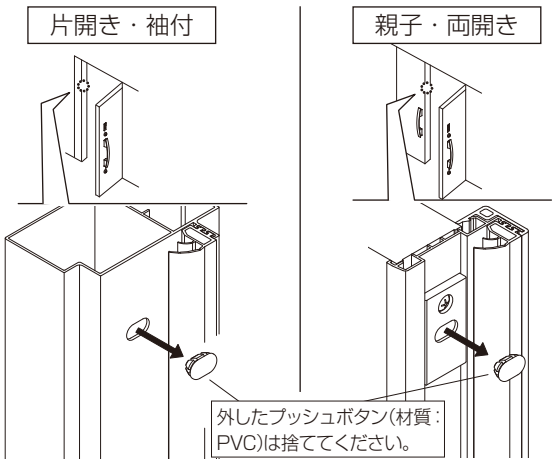


※パナソニック株式会社の製品です。
機器の問合せはパナソニック株式会社へお問合わせください。

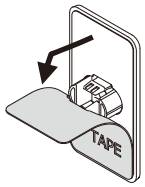
ドア枠への部品取付け

①マグネットの取付け（玄関ドア DA では、マグネットは工場取付け済となります）

①-1 プッシュボタンを外します。



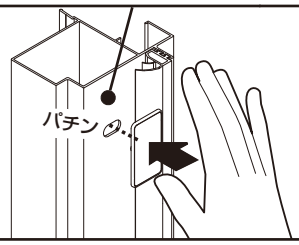
①-2 マグネットのリケイ紙を剥がします。



リケイ紙の剥がし忘れにご注意ください。

①-3 マグネットを張付けます。

マグネット張付け面が汚れている場合は掃除してください。汚れたまま張付けると外れるおそれがあります。



マグネットを3秒以上強く押付け、圧着させてください。

※一度張付けたマグネットは、取り外しても再利用できませんのでご注意ください。

②通電金具（枠側）の取付けと躯体内配線コードの接続

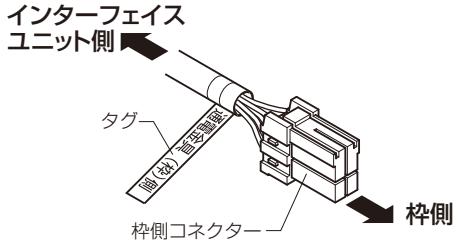
●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクの為、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。

※1 躯体内配線コードは必ず組立て前に枠内に通してください。

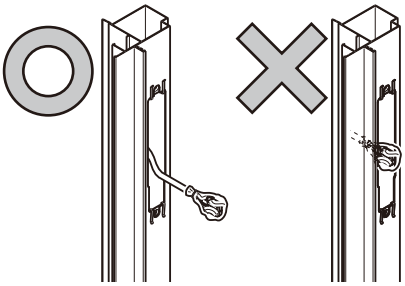
※2 部品箱に躯体内配線コード（10m）が同梱されています。長さが足りない場合は、別途有償品の躯体内配線コード（15m、20m）を手配してください。初期同梱の10m配線からの継ぎ足し延長はできません。

お願い

❶躯体内配線コードは、コネクター形状の違いにより、向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示内容とコネクター形状を確認し、躯体内配線コードの向きがあっていることを確認してください。



❷躯体内配線コードの枠側コネクターは切欠き穴から確実に引き出してください。



❸躯体内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクターを固定してください。

❹躯体内配線コードのはさみ込みによる破損・断線などのないようにしてください。

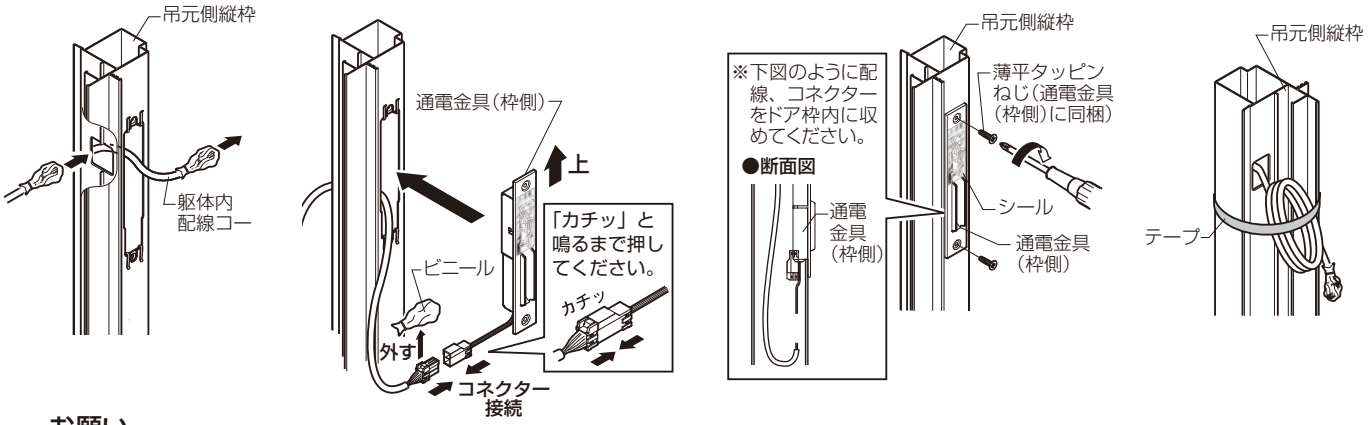
①躯体内配線コードを吊元側縦枠に通してください。

②コネクターを通電金具（枠側）に接続します。

③通電金具（枠側）を枠に取付けてください。

④躯体側の配線をテープなどでまとめます。

〈片開き・親子〉



お願い

※ドア枠内の配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合のおそれやメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。通電金具（枠側）のシールはコネクター接続時まで剥がさないでください。

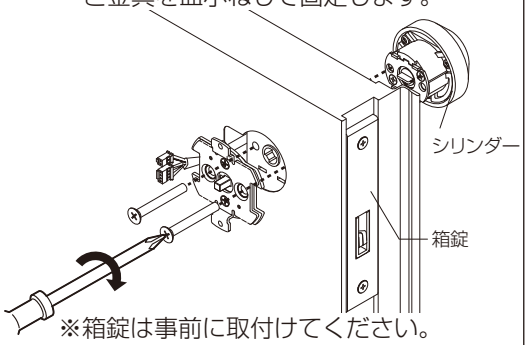
ドア本体への部品取付け

①電動サムターンの取付け

●サムターンは２個とも同じ部品で取付け方法も同じです。
●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクの為、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。
※ねじの締付けトルク（推奨）：1.2N･m {12kgf･cm}

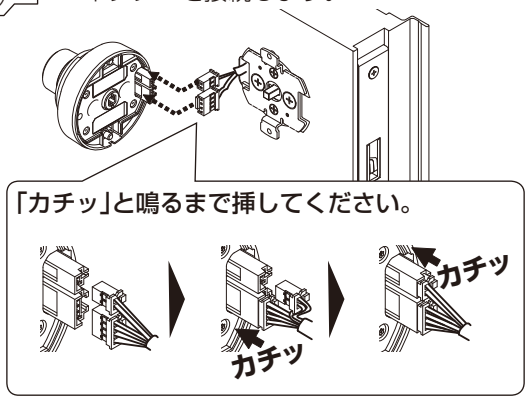
完成図

①-1 コネクターを引出してからシリンダーと金具を皿小ねじで固定します。

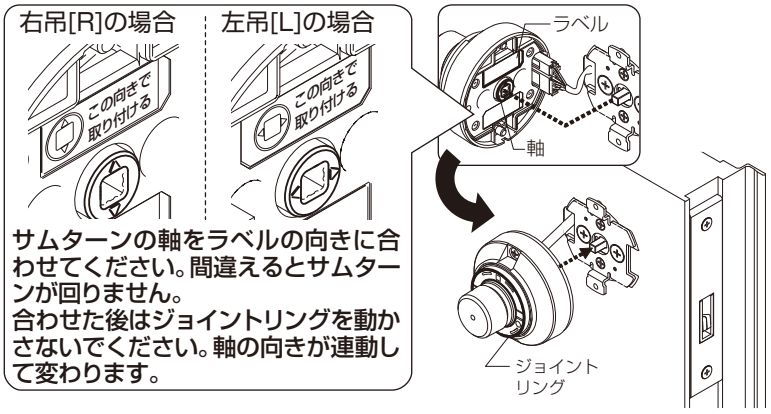


※箱錠は事前に取付けてください。
※ハーネスのはさみ込みにご注意ください。

①-2 コネクターを接続します。

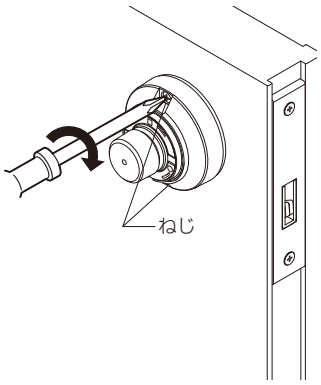


①-3 サムターン本体を金具にはめ込みます。（解錠状態で取付けること）

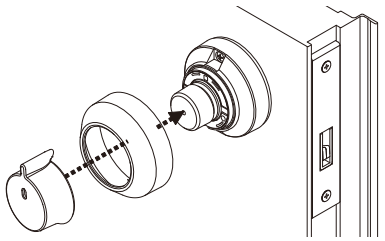


サムターンの軸をラベルの向きに合わせてください。間違えるとサムターンが回りません。
合わせた後はジョイントリングを動かさないでください。軸の向きが連動して変わります。

①-4 サムターン本体をねじで固定します。



①-5 カバーをはめてからツマミを付けます。

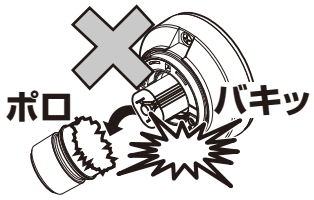


●ツマミの外し方
ボタンを押しながら引張ります。

■メンテナンス時の対応
[カバーの外し方]
図のように持ち、ひねるように引張ると外れます。

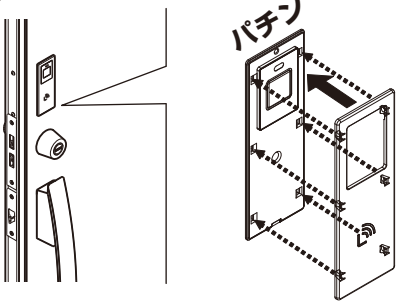
取扱い上のお願い事項

本製品は精密機器になります。電動サムターンなどの構成部品には、衝撃や強い力を加えないでください。破損の原因になります。

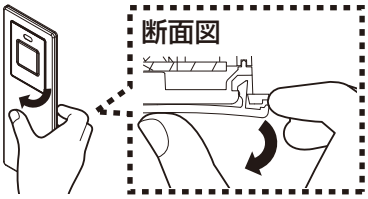


②室外側化粧プレートの取付け ※玄関ドア DA では、室外側化粧プレートは把手セットに同梱されています。

② リーダーに室外側化粧プレートを取付けます。（※S型ハンドルの場合、この作業は不要です。）



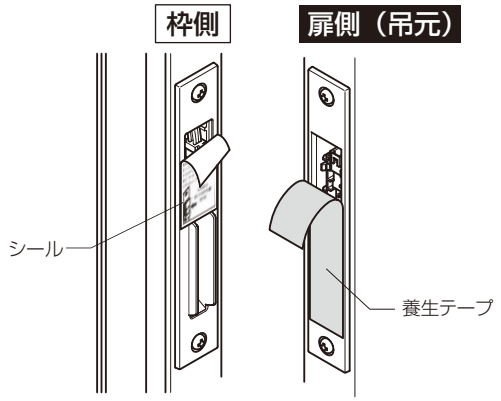
■メンテナンス時の対応
[化粧プレートの外し方]
図のように中央を押しながら横から外してください。別の外し方をするとプレートが破損するおそれがあります。



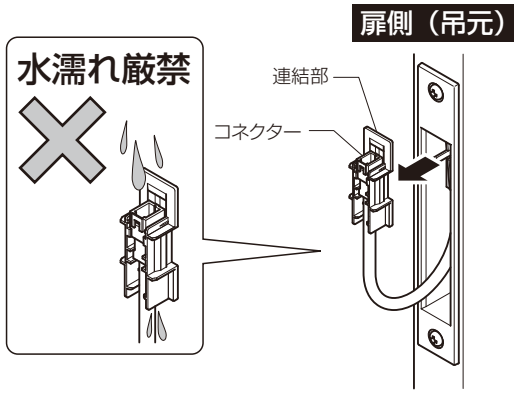
通電金具の接続

この作業は、扉を吊った後、扉を開けた状態で行ってください。
作業が終わるまでは扉を閉めないでください。
また吊元側の作業ですので、扉が閉まり指を挟まれないよう十分ご注意ください。

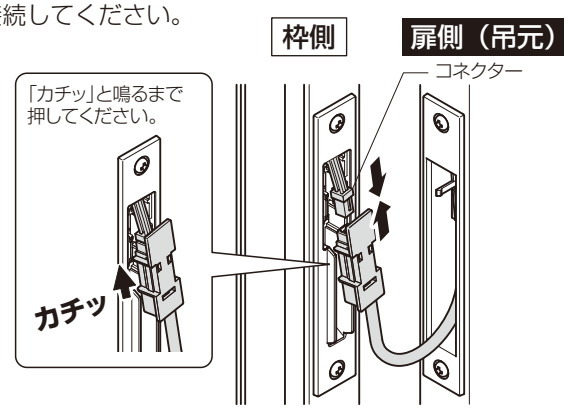
①枠側のシールと扉側の養生テープを剥がします。



②扉側からコネクター（連結部）を取り出します。

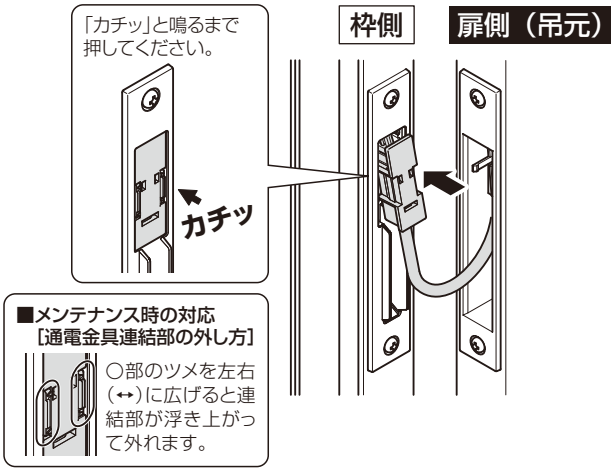


③扉側から取り出したコネクターを枠側のコネクターに接続してください。



※コネクターが濡れたまま接続しないでください。接触不良の原因になります。

④連結部を枠側の通電金具にはめ込みます。

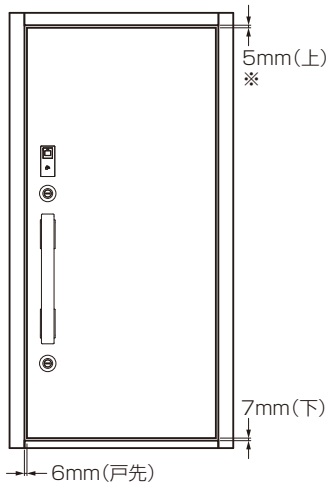


建付け調整

①枠とドア本体間のチリ寸法の調整

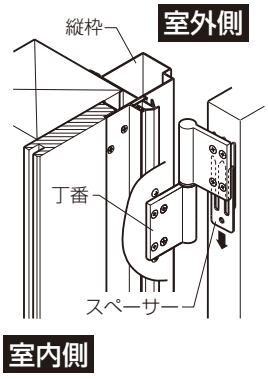
●上下、戸先側のチリ寸法と気密材とドアの当たりが均等に当たるように確認、調整してください。

■チリ寸法

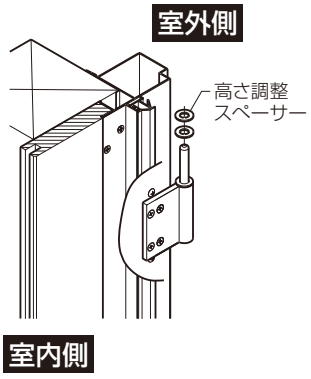


気密材とドアの当たりが均等でかつ狙いのチリ寸法になるように丁番で調整してください。
詳しくは「玄関ドア〔枠〕取付け説明書」を参照願います。
※60mm厚ドアの場合、6mm（上）になります。

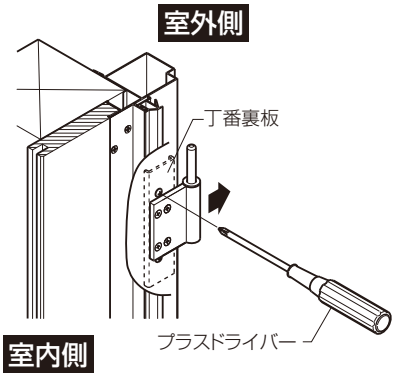
左右の調整



上下の調整

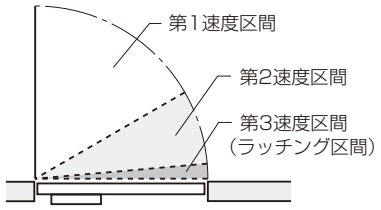


前後の調整

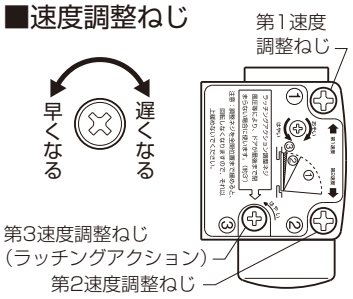


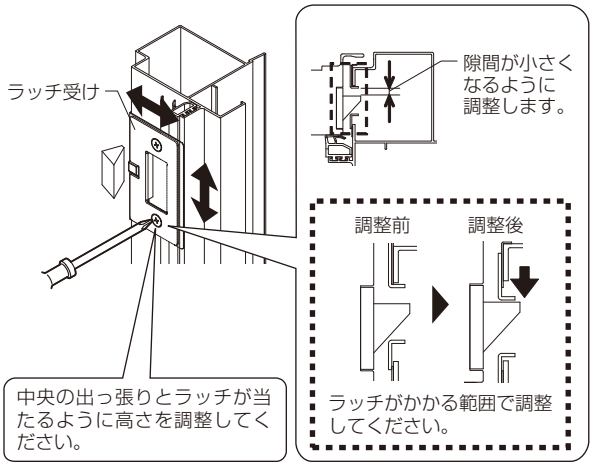
②ラッチの調整

●ラッチ調整の前にクローザの速度を適切に調整してドアが最後まで閉まるようにしてください。うまく閉まらない場合は、丁番もしくは子扉のフランス落としの調整を行ってください。そしてラッチがかからない場合、もしくはラッチがかかってもガタつきが大きい場合は、ラッチ受けの位置を調整してください。



■速度調整ねじ





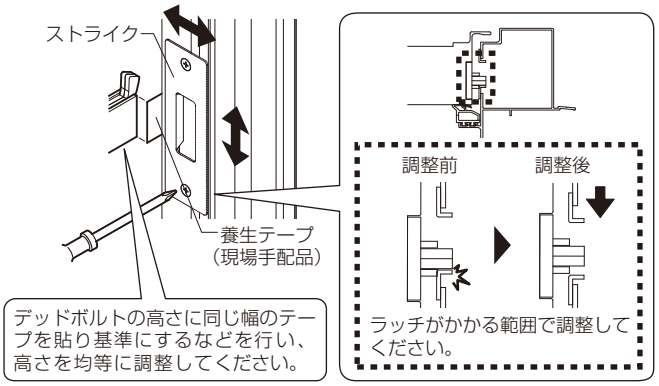
お願い

※調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
※各速度調整ねじは、左へ１回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬケガをするおそれがあります。

③ストライクの調整

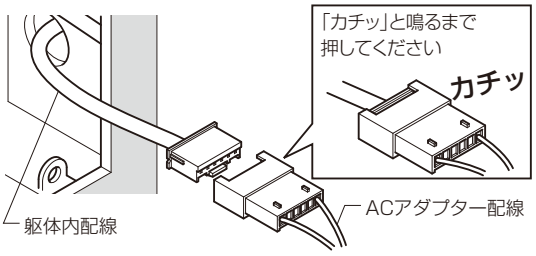
●ラッチがかかった状態でドアを押し引きしながらサムターンを回し、カギがスムーズにかかるかを確認してください。カギがスムーズにかからない場合は、ストライクの位置を調整してください。

【確認方法】



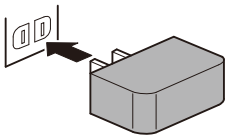
AC アダプターの取付け（ACアダプター式の場合）

※コントローラーユニット式の場合、AC アダプターは付属しません。次頁以降を参照してください。AC アダプターはお手入れの必要性から右記の設置例の方法を参考に設置してください。



●スイッチボックスより躯体内配線のコネクターを引出しACアダプターのコネクターと接続してください。

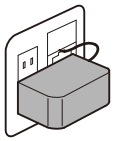
●ACアダプターを100Vのコンセントにしっかり奥まで差し込んでください。



【設置例】

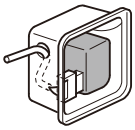
外付けタイプ 推奨（別売品）

・埋込扉付ダブルコンセント[WTF13523WK]
・埋込通線カバー（取付枠付）[WT9171W]
・スイッチ＋コンセントプレート[WTC7112W]
・スイッチボックス標準型 2コ用 セパレータ付 [DM80202]



点検口納めタイプ 推奨（別売品）

・簡易耐火カバープレート（2連用）[WTC7792W]
・2コ用 スイッチボックス（カバー付）[DS4912]
※金属製
・埋込抜け止コンセント（シングル）[WN1061SW]



お願い

※ AC アダプターをコンセントから抜いた際に断線しないよう配線に余裕を持たせ設置してください。
※スイッチボックス内に納める場合は必ず点検口を設けてください。露出して設置する場合は、お子様の手の届かない所へ設置してください。（お手入れできる場所への設置が必要です）
※ご使用される方に電気錠の AC アダプターであることを説明しホコリによるトラッキング防止のため、定期的なお手入れをお願いしてください。

機器の取付け、配線工事（コントローラーユニット式の場合）

機器の取付け、配線工事をするには電気工事士の資格が必要です。

■コントローラーユニットの取付け

●コントローラーの取付けは、『(P.1)機器の設置で注意して頂きたいこと』を守って以下の通り、設置してください。

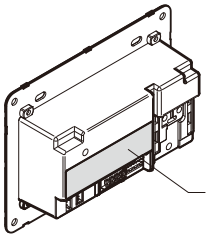
1 ボックス取付けの場合

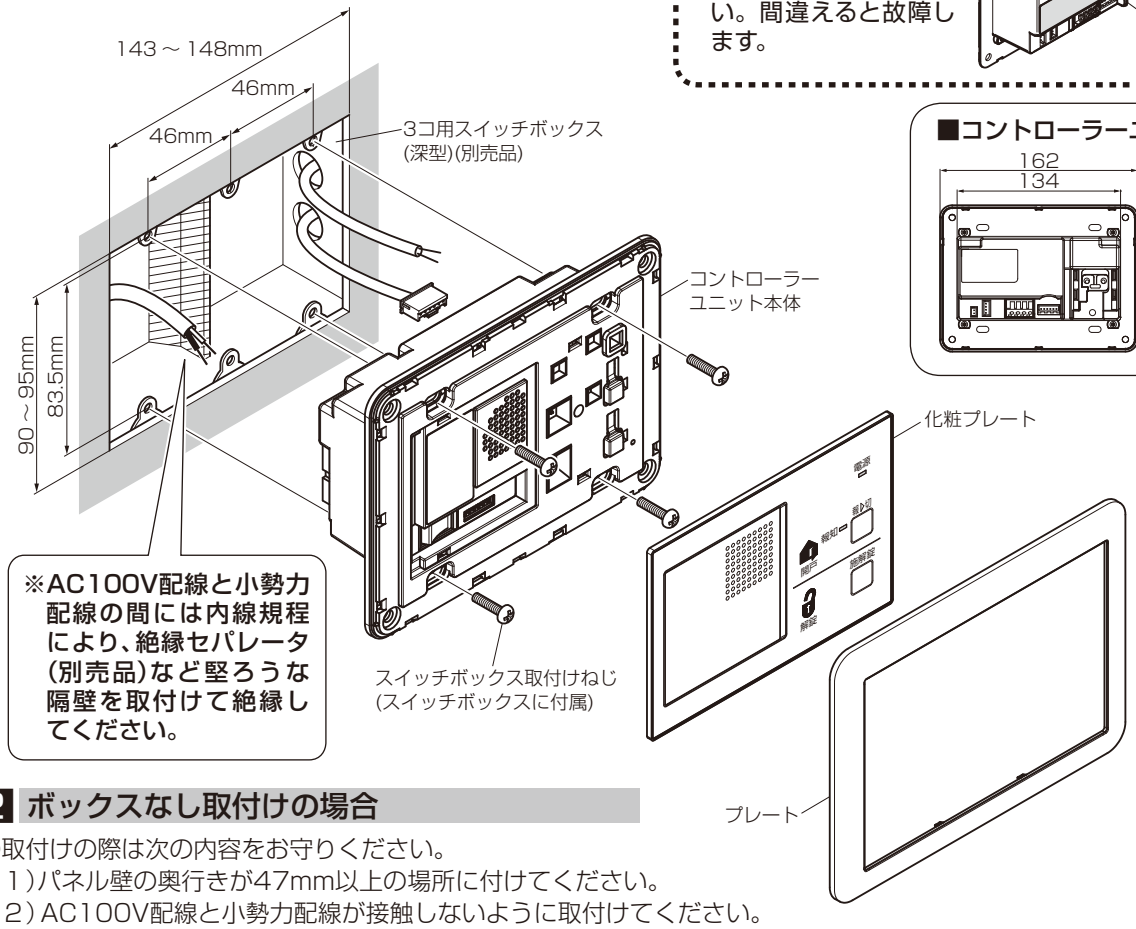
●プレート、化粧プレートをコントローラーユニットから一旦外し、P.9・10『■配線工事方法』と下の図を参考に取付けを行ってください。

※ねじの締付けトルク（推奨）：0.6N·m {6kgf·cm}

お願い

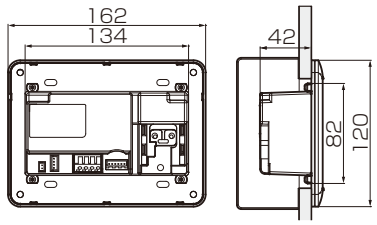
※コントローラユニットは２種類あるため、必ず商品に青色ラベルが付いていることを確認し、接続してください。間違えると故障します。





※AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータ（別売品）など堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。

■コントローラーユニット詳細寸法



2 ボックスなし取付けの場合

●取付けの際は次の内容をお守りください。

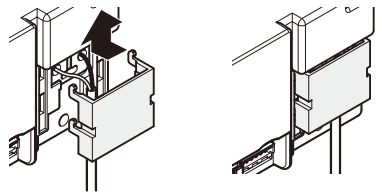
1）パネル壁の奥行きが47mm以上の場所に付けてください。
2）AC100V配線と小勢力配線が接触しないように取付けてください。
3）壁に埋込む商品ですので、商品埋込み深さおよび配線スペースに注意してください。
4）端子カバーを取付けてください（詳細は下記「端子カバーについて」を参照ください。）
5）下記、はさみ金具（別売品）を使用してください。

端子カバーについて

AC100V端子にグラスウールなどが接触するときは、内線規定により、端子カバーを取付けてください。

■端子カバーの付け方

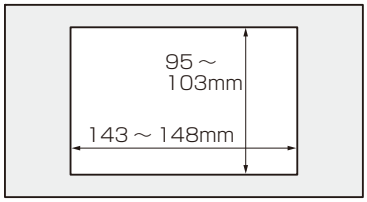
ツメをミゾ（4ヵ所）に差込み、上へあげます。
（外すときは、逆の手順になります。）



■適用はさみ金具（別売品）

対象壁	パナソニック㈱製はさみ金具品番
9～30mm厚の石膏ボードまたは合板	WN3998

■壁の穴あけ寸法



その他オプション品の取付けは、各器機に付属されている説明書に添って作業を行ってください。

■配線工事方法

■小勢力配線(速結端子)の接続について

①電線の被ふくを9mmむきます。

②1本ずつ奥まで差込みます。

■メンテナンス時の対応
[電線の外し方]

はずしボタンを押しながら電線を引抜きます。

■AC100V配線(速結端子)の接続について

①電線の被ふくを12mmむきます。

②1本ずつ奥まで差込みます。

「W」表示のある端子穴に『白色線(接地側)』を差込んでください。

⚠警　告

AC100V用電源配線は、最後まで確実に差込んでください。
差込みが不十分な場合、火災や焼損の原因になります。

■メンテナンス時の対応
[電線の外し方]

はずし穴を押しながら電線を引抜きます。

コントローラーユニット

定格電圧 AC100V
定格周波数 50/60Hz
定格消費電力 8W

小勢力用
ストリップゲージ
単線φ0.65～φ0.9
より線□0.5～0.75mm²

接点入力
無電圧a接点

HA端子

操作釦 N2 N1

シークレットスイッチ E2 E1

通電金具接続

AC100V

2 電気錠操作押ボタンとシークレットスイッチの接続

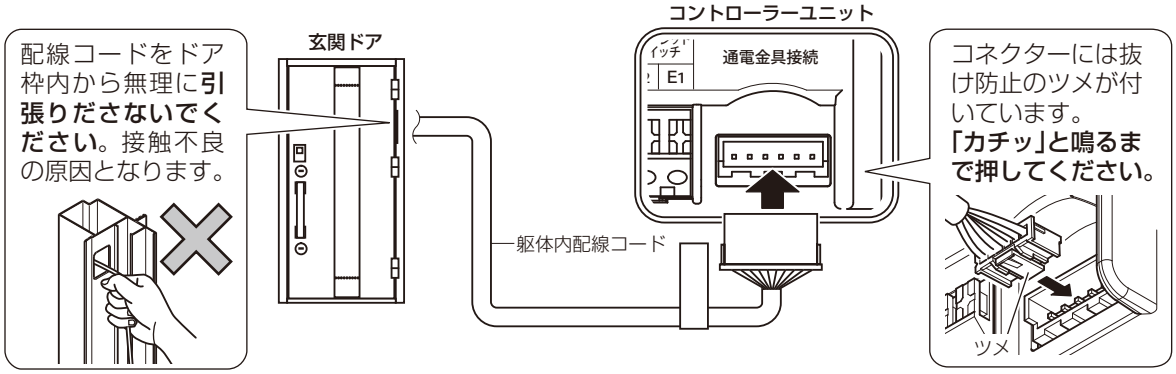
1 玄関ドアの接続

AC100V 電源線

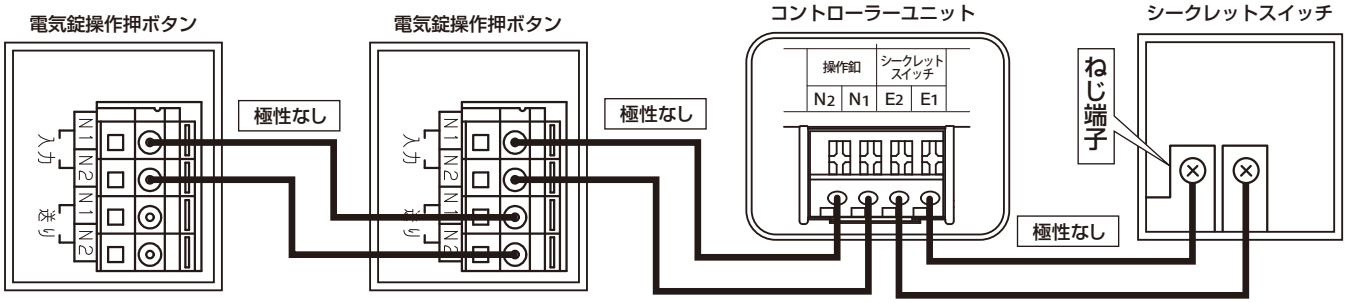
3 JEMA標準HA端子の接続

1 玄関ドアの接続

●躯体内配線コード(10m)が届く範囲にコントローラーユニットを設置してください。
※オプションの躯体内配線と交換で最大20mまで延長可能。継ぎ足しによる延長はできません。



2 電気錠操作押ボタンとシークレットスイッチ（オプション品）の接続

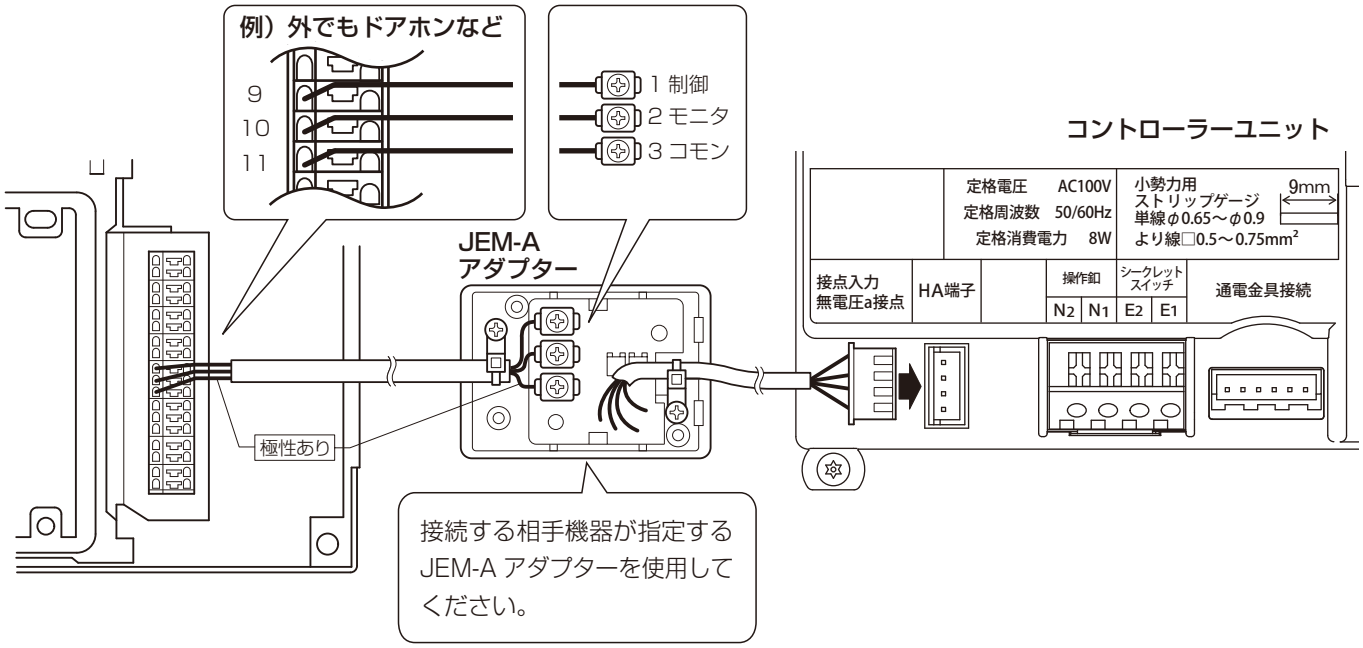


操作押ボタンは８台まで接続可能。

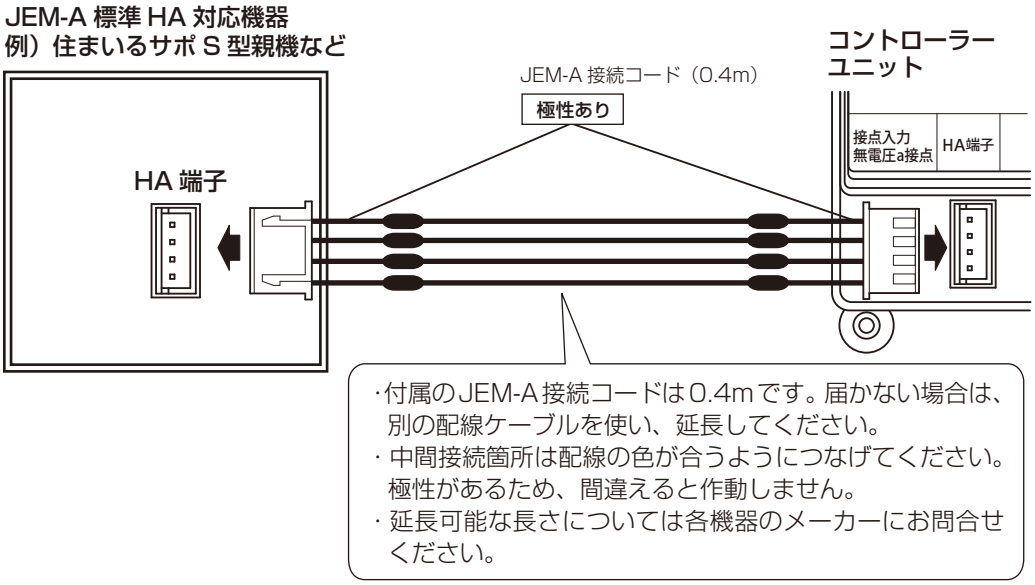
それぞれの配線ケーブルの合計が 50m 以内になるように設置ください。

3 JEM-A 標準 HA 端子との接続

■JEM-Aアダプターを使用する機器と接続する場合



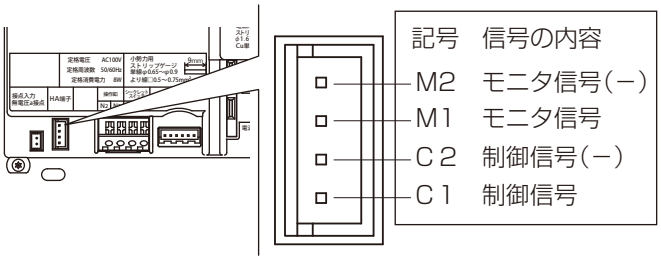
■JEM-A標準HA端子を持っている機器と接続する



■JEM-A標準HA端子について

コントローラーユニットはHA端子を装備しておりJEM-A 標準 HA 対応で電気錠と接続できると記載がある機器と接続することが可能です。また、その機器から解錠／施錠の遠隔操作を行うことができます。

コントローラーユニットのHA端子について



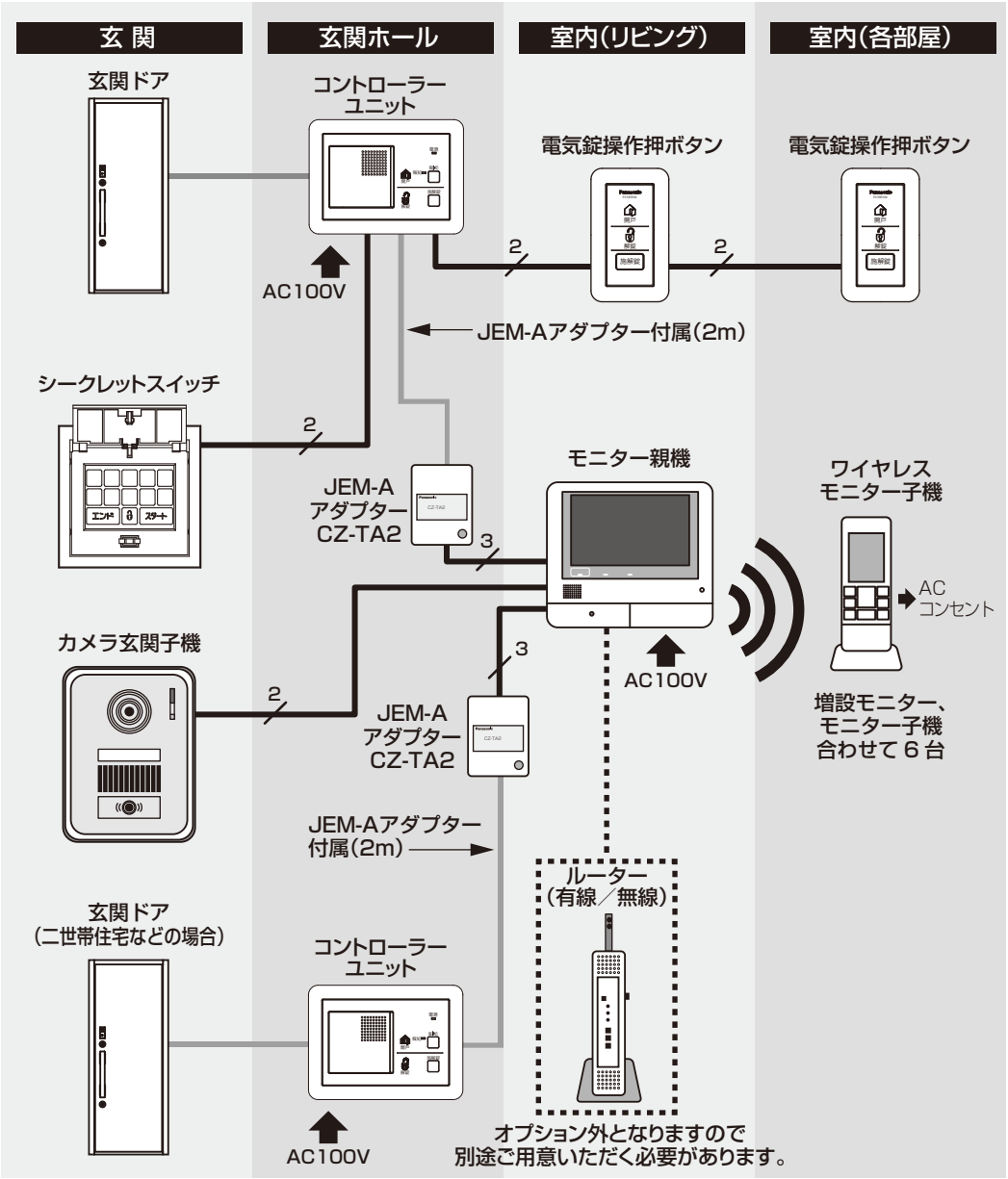
●モニタ信号
- 施錠時 M1端子がHigh(M1-M2端子間に15V/6mA)
- 解錠時 M1端子がLow(M1-M2端子間に0V)

●制御信号
- C1-C2端子間に0.2～0.3秒の無電圧a接点入力（短絡）で電気錠が反転動作

※反転動作とは施錠中は解錠、解錠中は施錠する動きのことです。

■パナソニック製 外でもドアホン使用時の接続について

1 接続例



●〔――〕の配線コードは、付属品です。
●〔━━〕の配線コードは、現場手配品です。AE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを手配し、下記「接続可能距離」を参考に施工してください。

※コントローラーユニットには掲載品以外のJEM-A接続に対応しているドアホンを接続して使用できます。

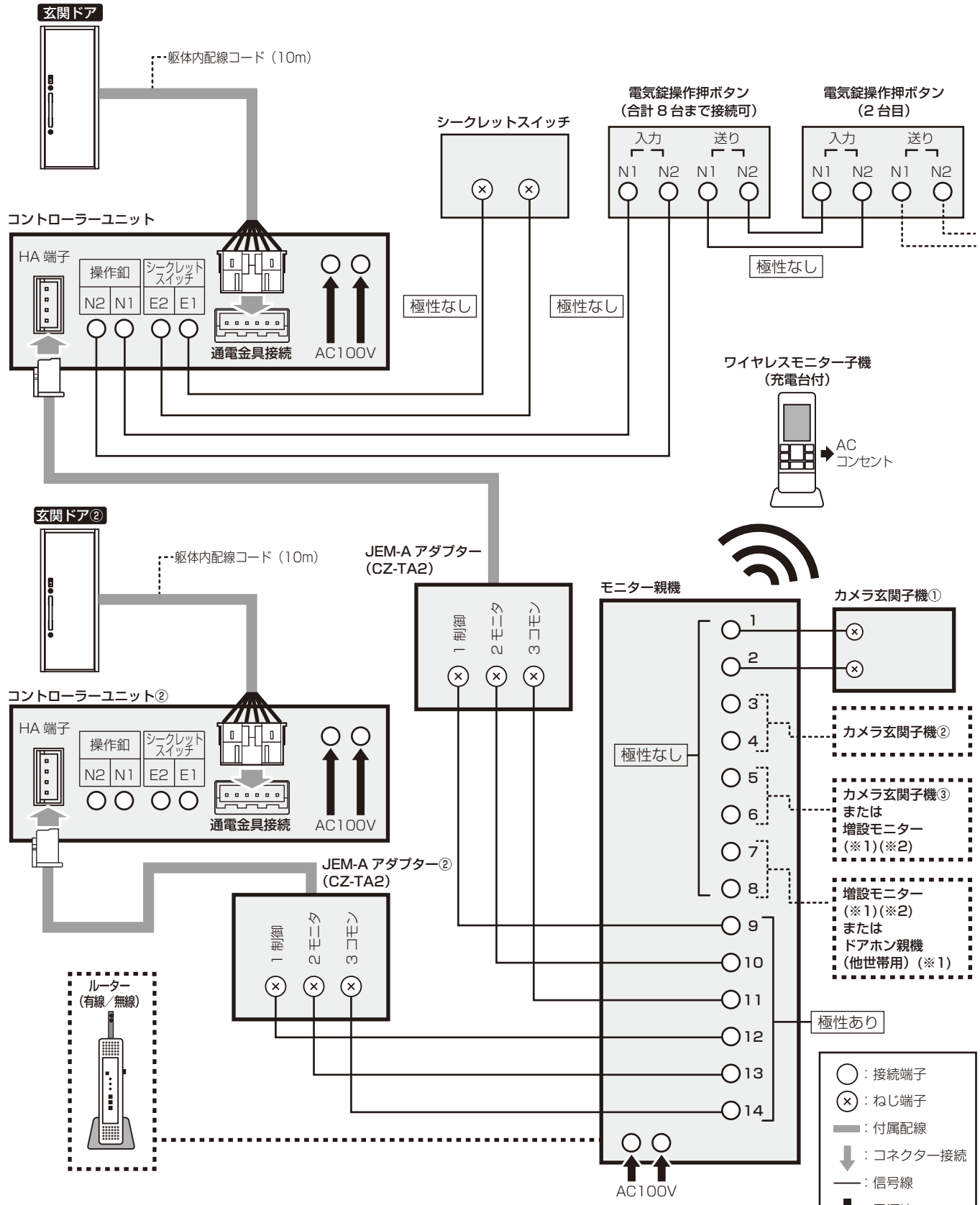
	単芯線：φ0.65～φ0.9
コントローラーユニット～モニター親機	2m＋30m
コントローラーユニット～電気錠操作	50m
コントローラーユニット～シークレットスイッチ	
モニター親機～玄関子機	100m
コントローラーユニット～玄関ドア	躯体内配線コード(10･15･20m)使用

2 取付け用現場手配部品一覧

商品名	取付け用部材(※1)
コントローラーユニット	JIS 3コ用スイッチボックス(深型)(※2)(※3) パナソニック(株)製 押さえ金具3連〔品番:WN3998〕(※2)
電気錠操作押ボタン	JIS 1コ用スイッチボックス はさみ金具 押さえ金具(1連用)
取付プレート（操作押ボタン用）	
シークレットスイッチ	JIS 2コ用スイッチボックス(カバー付)
取付プレート（シークレットスイッチ用）	
モニター親機	JIS 1コ用スイッチボックス(※3)(※4)
カメラ玄関子機	JIS 1コ用スイッチボックス(※4)

※1） 各機器の取付けには、上記取付け用部材の内、いずれか1つが必要になります。はさみ金具、押さえ金具に品番が記載されている場合は、記載されている品番以外のものは使用できません。取付け用部材は取付ける壁仕様により異なりますので、詳しくは各機器の施工説明書をご確認ください。(木壁の場合、取付け用部材を使用しなくとも直付け可能な機器もあります。)
※2) 取付けの壁面より、奥行きは47mm以上必要になります。
※3) スイッチボックスを使用する場合は、内線規程により、ボックス用絶縁セパレータをご使用ください。
※4） 木壁の場合、取付け用部材を使用せず付属の取付ネジで直付け可能です。
※配線ケーブルは、「システム配線図」を参考に手配してください。なお、複数の機器間の配線ケーブルを同一シースで配線することはできません。
※さらに部品を追加する場合は、「外でもドアホン取扱説明書・施工説明書」を確認ください。

■システム配線図（オプション品）



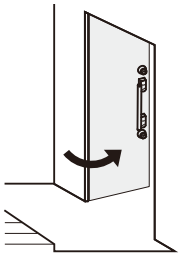
内の機器はオプション外となりますので、別途ご用意いただく必要があります。

※1) カメラ玄関子機を３台接続した場合、増設モニターとドアホン親機（他世帯用）はどちらか一方しか接続できません。
※2) 増設モニターは１台まで、ワイヤレスモニター子機と合わせ６台までとなります。
詳しくは「外でもドアホン取扱説明書・施工説明書」を確認ください。

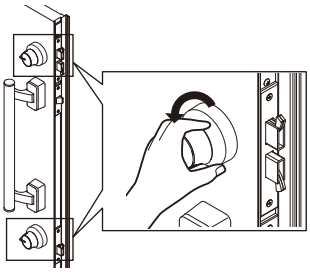
動作確認

■ AC アダプター式の動作確認

1 ドアを開けます。



2 上下のサムターンを順番に手動で施錠します。



状態	結果
「ピ音」が5回鳴り LEDが橙色に点滅する	**正常です。** 引渡し時までACアダプターを抜いておいてください。
何も起こらない	**異常です。** 下記の手順で点検を行いメンテナンスしてください。

■点検手順

上記の動作確認で「異常」になった場合のみ実施してください。

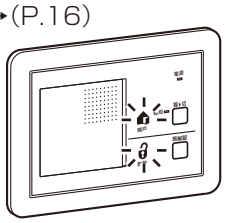
●ドアを開けた状態でリーダーのボタンを押す。

状態	結果
「ピ音」が5回鳴り LEDが橙色に点滅する	サムターンのコネクター接続ができていない
何も起こらない	・AC100Vが来ていない ・配線が接続されていない

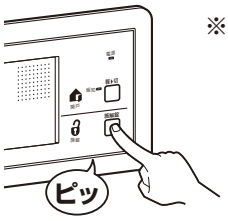
■コントローラーユニット式の動作確認

1 コントローラーユニットの電源を入れます。

2 開戸表示と解錠表示が正しく点灯、消灯するか確認します。→(P.16)



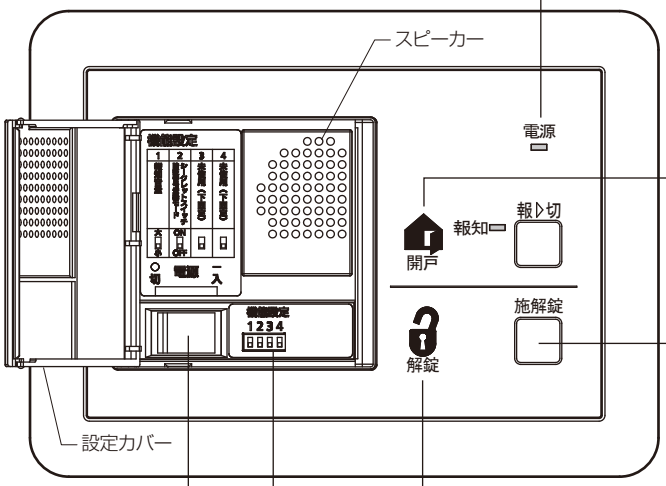
3 ドアを閉め施解錠ボタンを押し、施解錠できるか確認します。



※入荷時のコントローラーは未登録状態となっており施解錠操作できません。登録するには解錠状態で5分放置、または施解錠ボタンを押してください。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.16を参考に対処してください。

コントローラーユニット

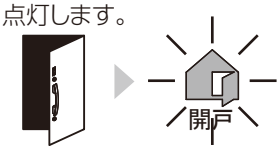


電源表示

電源が入っている時に緑色で点灯します。

開戸表示

ドアが開いている時に赤色で点灯します。



施解錠ボタン

ドアが閉まっているときのみ錠の操作ができます。

重要なお願い

点検終了時は必ず手動でサムターンを回し解錠してください。
施解錠ボタンによる解錠後、電源の入り切りをすると意図せず自動施錠する場合があり、閉め出されるおそれがあります。

電源スイッチ

電源の入り、切りができます。

報知音量(スイッチ1)

報知音（ポロロン）の音量を大きくできます。

■報知音量の調整

1	1
音量 小	音量 大

シークレットスイッチ 暗証番号登録モード(スイッチ2)

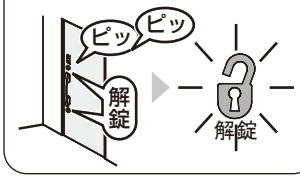
シークレットスイッチ暗証番号登録モードの電源の入り切りができます。

■報知音量の調整

2	2
電源 切	電源 入

解錠表示

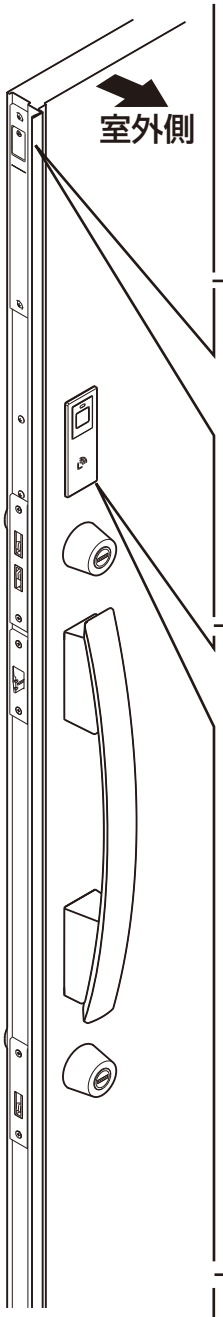
錠が上下2つとも解錠している時に赤色で点灯します。



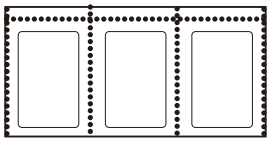
※防犯のため、お施主さま引渡し後、速やかにシークレットスイッチの暗証番号を登録してください。

その他オプション品の設定、動作確認方法は、各機器に付属されている説明書に添って行ってください。
確認後、引渡し時まで電源スイッチをOFFにしてください。

■カードキーを使った動作確認



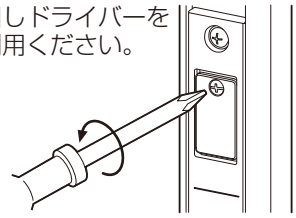
1 **同梱のカードキー3枚は未登録です。**
作動確認を行う際はクリアケースに入れたまま登録を実施してください。



解錠し、ドアを開けます。
※登録終了まで開けたままにしてください。

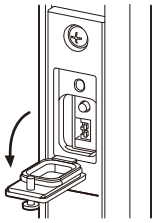
2 フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。



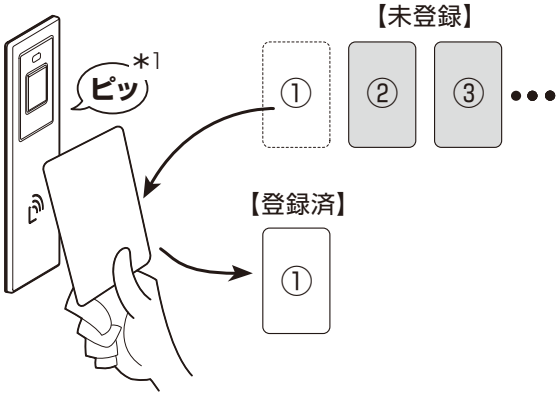
約10回まわします。

フタを外します。



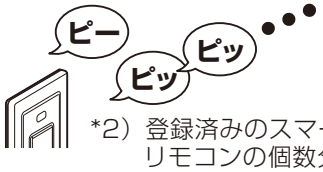
登録ボタンを 1 秒押し、離します。

3 1枚ずつカードキーを📶マークにかざし登録します。



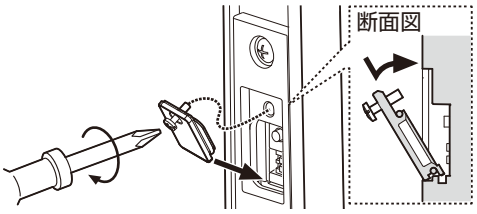
*1）登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピッ音』が鳴ります。（例：1枚目『ピッ』、2枚目『ピッ、ピッ』）
※最大登録枚数は10枚です。
※S型ハンドルの場合、📶マークはハンドルに付いています。

4 約30秒待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*2



*2）登録済みのスマートフォンやリモコンの個数分も合わせて鳴ります。

5 フタを元に戻します。



下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

6 外に出てカードキーを使って施解錠の確認を行ってください。

タッチボタンを押し、カードキーを「📶」マークにかざします。

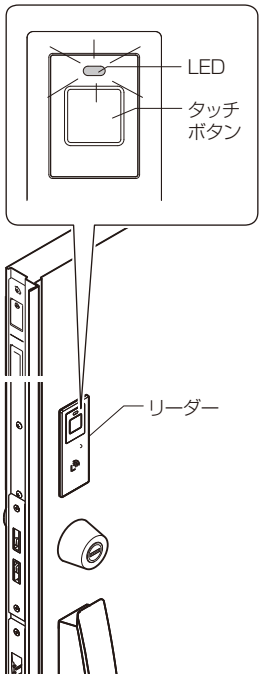
2つのカギが施解錠することを確認します。

お願い
※電気錠操作では上下2ロックになりますが工事用キーで操作できるのは上シリンダーのみになります。この為、締め出しの可能性があるので別の出入り口を確保するか室内に人が居る状態で確認を行ってください。
※工事中は連動施錠機能を ON にしないでください。下の錠が施錠されると工事用キーで解錠できなくなります。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.15を参考に対処してください。

■ドアのブザー音と表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ	緑色で点滅（5 秒間）	施錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	赤色で点滅（5 秒間）	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅→消灯	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯（1 秒間）	施錠できました。
ピッピッ	赤色で点灯（1 秒間）	解錠できました。
ピー	緑→赤色で交互に点灯繰り返し	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯→消灯	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅（アップデート終了まで）	ファームウェアアップデート状態へ入りました。

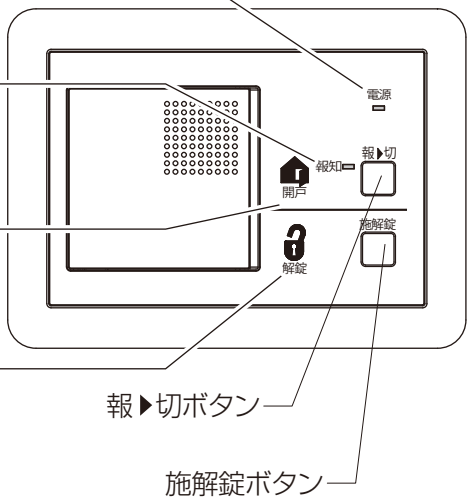


ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ	橙色で点滅（1.5 秒間）	ドアが開いた状態で施解錠操作が行われました。	ドアを閉じてください。
		施錠状態で登録ボタンが押されました。	登録の際は解錠状態で行ってください。
		電動サムターン作動途中でドアが開けられました	手動でサムターンを回し解錠にしてからドアを閉じてください。
ピピ × 8	橙色点滅（2.5 秒間）	上の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	建付け調整を行ってください。→（P.7 ■ストライクの調整『枠 取付け説明書』参照）
ピピピ × 6		下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3		上下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピーピ × 4	橙色で点灯（5 分間）	制御ユニット、リーダーの故障。もしくは扉内の配線に異常があります。	部品の交換が必要です。
ピーピピ × 4		上電動サムターンの取付け不備または故障しています。	電動サムターンをドアから完全に取外し、再度取付けてください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。→（P.5 ①電動サムターンの取付け）
ピーピピピ × 4		下電動サムターンの取付け不備または故障しています。	
ピーピピ、ピーピピピ × 2		上下電動サムターンの取付け不備または故障しています。	
ピー × 4		リーダーに一時的なエラーが発生しています。	電源を入／切して再起動してください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。
ピー × 8		制御ユニットに一時的なエラーが発生しています。	
—	橙色で点滅（5 秒間）	玄関キー（カードキーなど）が登録されていません。（出荷時）	カードキーの登録を行ってください。→（P.14）
ピッ	緑色で点灯（1 秒間）（動作なし）	玄関キーが登録されていません。（全末梢後 ／施錠時 ）	
	赤色で点灯（1 秒間）（動作なし）	玄関キーが登録されていません。（全末梢後 ／解錠時 ）	

※ S 型ハンドルの場合は、リーダーがハンドルに内蔵されており、一部形状が異なりますが、ブザー音や LED 表示内容は変わりません。

■コントローラーユニットのブザー音と表示について

表示内容	お知らせ内容
電源表示が緑色で点灯 電源	電源が入ってます。
報知表示が緑色で点灯 報知	報知設定になっています。
開戸表示が赤色で点灯 開戸	ドアが開いています。
解錠表示が赤色で点灯 解錠	カギが上下２つとも解錠しています。



ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、・・・・・・・		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロロン、ポロロン・・・ ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に開戸表示が赤色の点灯 開戸 報知	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が交互に点灯する 電源 ⟷ 報知	躯体内配線コードが短絡しています。	【電気工事区分】 躯体内配線の短絡箇所を確認し修理してください。
－	開戸表示と解錠表示、報知表示が同時に点滅する。	制御ユニットとコントローラーユニット間の通信が 24 時間途切れました。	コネクター接続箇所と配線を確認してください。

商品仕様

■コントローラーユニット

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約8W／待機時：約1.5W
出力電圧	DC7.2V
音量	報知音（大）：約73dB（前方1m）
使用環境温度範囲	−10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	−20～60℃

■ACアダプター

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約6.5W ／待機時：約0.1W
出力電圧	DC7.2V
使用環境温度範囲	−10～50℃
使用環境湿度範囲	5～95%（相対湿度）
保存環境温度範囲	−20～65℃

■ドア側（AC式）

入力電源仕様	DC7.2V（コントローラーユニットまたはACアダプターより給電）
出力周波数	2402～2480MHz ／ 13.56MHz
電界強度	85dBμV/m ／ 112dBμV/m（参考）
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム／誘導式読み書き通信設備
使用環境温度範囲	−10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	−20～60℃
スマートフォン登録可能数 リモコン登録可能数	計10台（最大同時接続数6台）
カードキー登録可能数	最大10枚

■カードキー

使用環境温度範囲	−10～50℃
保存環境温度範囲	−20～60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
　改造すると法律により罰せられることがあります。

LIXIL

FamiLock AC100V式 取付け説明書

2023.3

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. **0120-126-001**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-413-433**　FAX. **0120-413-436**

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAM-934C	事業所コード AXU6	2023.3.31発行

MAM934C